



## 2020年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年8月4日

上場会社名 株式会社アルテ サロン ホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 2406 URL <https://www.arte-hd.com>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉村 栄義  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画部長 (氏名) 坂口 満春 TEL 045-663-6123  
 四半期報告書提出予定日 2020年8月14日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年12月期第2四半期の連結業績(2020年1月1日～2020年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第2四半期	3,594	△12.6	△41	ー	48	△73.8	△189	ー
2019年12月期第2四半期	4,112	5.7	183	△6.6	183	△8.4	92	13.0

(注) 包括利益 2020年12月期第2四半期 △188百万円(ー%) 2019年12月期第2四半期 92百万円(12.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第2四半期	△19.10	ー
2019年12月期第2四半期	9.32	ー

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第2四半期	11,345	2,679	23.6
2019年12月期	8,695	2,943	33.8

(参考) 自己資本 2020年12月期第2四半期 2,679百万円 2019年12月期 2,943百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	ー	0.00	ー	7.50	7.50
2020年12月期	ー	0.00			
2020年12月期(予想)			ー	ー	ー

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

(注2) 2020年12月期の1株当たりの期末配当金については、当社グループの事業環境を鑑み、未定としております。

### 3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー

(注1) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

(注2) 新型コロナウイルス感染症拡大による事業活動への影響が見込まれ、現時点で合理的な業績予想の算定が困難であることから、業績予想を未定とさせていただきます。業績予想の算定が可能となった段階で速やかに公表いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動): 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年12月期2Q	10,300,000株	2019年12月期	10,300,000株
② 期末自己株式数	2020年12月期2Q	399,743株	2019年12月期	399,743株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年12月期2Q	9,900,257株	2019年12月期2Q	9,940,314株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法)

当社は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、四半期決算説明会に代えて、2020年8月7日に機関投資家及びアナリスト向けの四半期決算説明動画を当社ウェブサイトにて配信いたします。

なお、四半期決算補足説明資料については、TDnet及び当社ウェブサイトにて同日開示いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(追加情報)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2020年1月1日~2020年6月30日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、極めて厳しい状況にあります。感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを段階的に引き上げていくなかで、各種政策の効果により、持ち直しに向かうことが期待されるものの、国内外の感染症の最新の動向や金融資本市場の変動等の影響につき注視が必要な状況にあります。

美容室業界におきましても新型コロナウイルス感染症により顕著な影響を受け、当社グループ店舗におきましては、4月7日の緊急事態宣言の発令に合わせ、自主的に休業や営業時間の短縮等の対応を行った結果、4月月次単月の当社主要子会社の入客数が前年比32.8%、当社グループチェーンの全店売上高合計が前年比30.7%と著しく落ち込む結果となりました。

当社グループでは、日頃からサロンの衛生管理を行ってまいりましたが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、2月末より社内で「新型コロナウイルス対策室」を立上げ、お客様の安心・安全のため、感染症予防対策や衛生管理をより一層強化してまいりました。また、当社グループ店舗におきましては、5月7日以降の営業再開時においても、お客様と従業員の健康を守ることをアルテグループ「3Sオペレーション」として掲げ、仕切りの設置・間隔を空けての施術など、各社各店舗の状況に応じて実践し感染防止に努めております。今後も政府・自治体の感染発生段階に合わせた行動計画に基づき、柔軟かつ迅速に全社の対応方針を決定してまいります。

このような状況のなか、当社グループは、複数のブランドを展開し、事業会社ごとに顧客の多様なニーズに応えております。高品質なサービスをリーズナブルな料金で提供するアッシュ、ニューヨーク・ニューヨークなどのデザイン系サロンを中核に置き、定期的なヘアメンテナンスの需要拡大を背景にエコミーな料金で施術サービスを行うChoki Petaブランドの新店展開も行っております。当社グループは、それぞれの事業会社・ブランドごとにより安心・安全な店舗の衛生管理を徹底した上で、マーケティング活動を展開すると同時に、経営理念「地域のお客様に美と健康と若々しさを提供し、当社グループに関わるすべての人と共に幸福社会を築いていける会社づくりを目指す」を旗印に、グループの結束力を強化し、経営の効率化や地域一番店を目指すための諸施策を実施しております。

デザイン系サロンの新規顧客来店施策としては、SNSを利用したスタイリストの美容情報の発信強化や、新たなWebマーケティング戦略に基づいた施策を実施し、増員に繋げております。また、既存顧客を含めて、自社ホームページでの来店施策を重視し、サロンごとの特色を活かしたコラムの作成やスタッフ紹介など、その魅力を高め、閲覧数・閲覧時間の増加を図るとともに、Web予約システムによる集客強化に注力しております。

単価アップ並びに固定顧客増加の施策としては、他のサロンと比較した技術の優位性を体感していただくため、ワンランクアップのつや感を演出するカラー施術、デザイン性を重視したパーマ施術を強化していきます。また、美容室の雰囲気や対応力を重視する大人客を囲い込むための接客力の強化や付加価値メニューの取組みによる単価アップについても進めております。

更に、天然由来成分を可能な限り配合した、人や地球環境にやさしいオリジナルのヘアケア&スキンケアの新ブランド「ennic(エニック)」シリーズを2020年2月14日にアッシュとニューヨーク・ニューヨークの店頭にて販売開始致しました。今後は、外部ECサイトにて販売を拡大し、新たな利用者の獲得を図ってまいります。

メンテナンス系サロンのChoki Petaは、引き続き商業施設への出店を強化し、お客様の価値観やライフスタイルに密着したサービスを提供してまいります。2016年度より毎年平均10店舗の新規出店を継続しており、2020年度においては、6月末時点で、関東圏で6店舗、関西圏で2店舗出店しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における当社主要子会社のチェーン売上高は、株式会社アッシュ「以下、Ash」が前年同期比78.8%、株式会社ニューヨーク・ニューヨーク「以下、NYNY」が同96.1%、株式会社スタイルデザイナー「以下、SD」が同88.8%、株式会社C&P「以下、C&P」が同89.3%となりました。また、当社主要子会社の入客数は、同85.2%となっております。以上により、当社グループチェーンの全店売上高合計は、7,406百万円(同83.4%)となっております。

当第2四半期連結累計期間における当社グループの連結子会社店舗数は、331店舗(Ash127店舗、NYNY39店舗、SD98店舗、C&P57店舗、株式会社ダイヤモンドアイズ10店舗)となり、海外店舗数1店舗(シンガポール共和国)を加え、当社グループ店舗数は、332店舗となりました。なお、NYNYが展開する関西圏のChoki Petaの店舗数は、10店舗(同2店舗増加)となっており、グループにおけるFC店舗数は、225店舗(Ash109店舗、NYNY16店舗、SD98店舗、C&P2店舗)となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は3,594百万円(前年同期比87.4%)、営業損失は41百万円(前年同期は営業利益183百万円)、経常利益は48百万円(同26.2%)となりました。また、感染症に係る臨時休業による損失339百万円を「感染症関連損失」(注)として特別損失に計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純損失は189百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益92百万円)となりました。

当社グループは、美容室チェーン展開を行う事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(注) 当社グループ店舗の臨時休業中に発生した固定費について臨時性があると判断し特別損失に計上したものでその内訳は以下のとおりであります。

- ①株式会社アッシュのFC店舗への休業期間中における店舗設備使用料減免額等 144百万円
- ②当社グループ店舗の休業期間中における直営店の人件費 148百万円
- ③当社グループ店舗の休業期間中における直営店の家賃 33百万円
- ④当社グループ店舗の休業期間中における直営店の減価償却費 12百万円

## (2) 財政状態に関する説明

### ①財政状態の分析(資産、負債及び純資産の状況)

#### (資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて、2,452百万円増加して5,498百万円となりました。

これは主として、現金及び預金の増加2,356百万円によるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて、197百万円増加して5,847百万円となりました。

これは主として、新規出店、移転等による建物(純額)の増加87百万円、工具、器具及び備品(純額)の増加49百万円によるものです。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて、2,650百万円増加して11,345百万円となりました。

#### (負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて、2,642百万円増加して5,513百万円となりました。

これは主として、新型コロナウイルス感染症拡大の影響に伴う財務状態悪化のリスク対応策として調達した短期借入金の増加3,150百万円、未払金の減少377百万円によるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて、270百万円増加して3,152百万円となりました。

これは主として、設備投資資金として調達した長期借入金の増加258百万円によるものです。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて2,913百万円増加して8,665百万円となりました。

#### (純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて、263百万円減少して2,679百万円となりました。

これは主として、親会社株主に帰属する四半期純損失189百万円の計上、配当金支出74百万円によるものです。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の33.8%から23.6%となりました。

### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」)は、前連結会計年度末に比べ2,356百万円増加し、3,932百万円となりましたが、主な要因は次のとおりです。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、支出した資金は595百万円(前年同四半期は282百万円の収入)となりました。

これは主として、税金等調整前四半期純損失247百万円、未払金の減少額377百万円によるものです。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、支出した資金は440百万円(前年同四半期は446百万円の支出)となりました。

これは主として、新規出店、移転等に伴う有形固定資産の取得による支出392百万円、敷金及び保証金の差入による支出27百万円によるものです。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、得られた資金は3,392百万円(前年同四半期は87百万円の収入)となりました。

これは主として、新型コロナウイルス感染症拡大の影響に伴う財務状態悪化のリスク対応策として調達した短期借入れによる収入3,150百万円、長期借入れによる収入600百万円、長期借入金の返済による支出282百万円、配当金の支払額73百万円によるものです。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2020年6月12日に公表いたしました連結・個別の第2四半期累計期間(2020年1月1日～2020年6月30日)の業績予想を修正いたしました。

なお、通期の連結・個別業績予想及び配当予想については、新型コロナウイルス感染拡大懸念や感染症の収束時期など不確定要素が多く、現時点で合理的な算定が困難であることから2020年6月12日に公表いたしました通期の連結・個別業績予想及び配当予想である「未定」のままとさせて頂いております。

詳細につきましては、2020年8月3日に公表いたしました「営業外収益および特別利益並びに特別損失の計上、2020年12月期業績予想に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	1,575,830	3,932,327
売掛金	481,386	478,602
商品	79,719	97,008
貯蔵品	17,395	30,974
その他	896,936	964,137
貸倒引当金	△5,110	△4,184
流動資産合計	3,046,158	5,498,866
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物	6,238,343	6,383,885
減価償却累計額及び減損損失累計額	△3,419,992	△3,477,653
建物(純額)	2,818,351	2,906,231
車両運搬具	26,623	26,623
減価償却累計額	△11,137	△14,488
車両運搬具(純額)	15,485	12,134
工具、器具及び備品	1,334,511	1,370,075
減価償却累計額及び減損損失累計額	△928,569	△914,984
工具、器具及び備品(純額)	405,941	455,091
土地	134,200	134,200
リース資産	18,021	18,021
減価償却累計額	△750	△2,252
リース資産(純額)	17,270	15,768
建設仮勘定	22,069	20,951
有形固定資産合計	3,413,319	3,544,378
<b>無形固定資産</b>		
のれん	220,414	228,550
その他	78,179	81,909
無形固定資産合計	298,593	310,459
<b>投資その他の資産</b>		
敷金及び保証金	1,433,608	1,410,962
その他	512,353	588,724
貸倒引当金	△8,301	△7,424
投資その他の資産合計	1,937,660	1,992,262
固定資産合計	5,649,574	5,847,100
資産合計	8,695,733	11,345,967

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	95,252	73,180
短期借入金	150,000	3,300,000
1年内返済予定の長期借入金	511,780	570,644
未払金	1,717,352	1,340,232
未払法人税等	118,382	27,410
賞与引当金	4,799	7,294
資産除去債務	5,024	7,948
その他	267,920	186,427
流動負債合計	2,870,510	5,513,138
固定負債		
長期借入金	2,037,285	2,296,263
退職給付に係る負債	73,103	71,879
資産除去債務	560,761	567,119
株主優待引当金	4,386	6,341
その他	206,624	211,237
固定負債合計	2,882,161	3,152,841
負債合計	5,752,672	8,665,979
純資産の部		
株主資本		
資本金	498,000	498,000
資本剰余金	860,292	860,292
利益剰余金	1,697,375	1,434,071
自己株式	△113,425	△113,425
株主資本合計	2,942,241	2,678,937
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	819	1,050
その他の包括利益累計額合計	819	1,050
純資産合計	2,943,061	2,679,988
負債純資産合計	8,695,733	11,345,967

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
売上高	4,112,200	3,594,223
売上原価	2,961,976	2,708,079
売上総利益	1,150,223	886,144
販売費及び一般管理費	966,821	927,625
営業利益又は営業損失(△)	183,401	△41,481
営業外収益		
受取利息	1,248	1,246
受取手数料	3,650	5,456
助成金収入	1,995	85,065
その他	2,742	8,205
営業外収益合計	9,636	99,973
営業外費用		
支払利息	7,260	8,051
貸倒引当金繰入額	246	—
その他	1,984	2,404
営業外費用合計	9,491	10,455
経常利益	183,546	48,036
特別利益		
固定資産売却益	—	100
助成金収入	—	74,602
特別利益合計	—	74,702
特別損失		
固定資産売却損	951	—
固定資産除却損	1,845	841
店舗閉鎖損失	10,428	6,163
減損損失	—	16,887
資産除去債務履行差額	4,747	6,890
感染症関連損失	—	339,125
特別損失合計	17,973	369,908
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	165,573	△247,170
法人税、住民税及び事業税	75,259	25,421
法人税等調整額	△2,348	△83,539
法人税等合計	72,910	△58,118
四半期純利益又は四半期純損失(△)	92,662	△189,052
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	92,662	△189,052



(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	92,662	△189,052
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△266	231
その他の包括利益合計	△266	231
四半期包括利益	92,395	△188,820
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	92,395	△188,820

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	165,573	△247,170
減価償却費	233,601	245,633
減損損失	—	16,887
のれん償却額	31,747	33,263
その他の償却額	1,943	2,011
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△8,425	△1,224
貸倒引当金の増減額(△は減少)	3,143	△1,803
賞与引当金の増減額(△は減少)	10,074	2,494
株主優待引当金の増減額(△は減少)	1,368	1,955
受取利息及び受取配当金	△1,273	△1,273
助成金収入	△1,995	△159,667
支払利息	7,260	8,051
為替差損益(△は益)	218	301
有形固定資産売却損益(△は益)	951	△100
受取保険金	△1	—
有形固定資産除却損	1,845	841
店舗閉鎖損失	10,428	6,163
資産除去債務履行差額	—	6,890
感染症関連損失	—	339,125
投資有価証券評価損益(△は益)	—	234
売上債権の増減額(△は増加)	79,132	2,784
たな卸資産の増減額(△は増加)	8,254	△30,868
立替金の増減額(△は増加)	41,231	88,303
その他の資産の増減額(△は増加)	1,686	3,642
仕入債務の増減額(△は減少)	△29,941	△22,072
未払金の増減額(△は減少)	△217,574	△377,119
未払消費税等の増減額(△は減少)	11,275	△99,162
その他の負債の増減額(△は減少)	1,189	12,925
小計	351,715	△168,950
利息及び配当金の受取額	1,217	1,359
利息の支払額	△7,631	△9,088
補償金の受取額	23,199	—
保険金の受取額	1	—
法人税等の支払額	△88,078	△116,392
助成金の受取額	1,995	25,051
感染症関連損失の支払額	—	△327,116
営業活動によるキャッシュ・フロー	282,418	△595,137

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△335,441	△392,757
有形固定資産の売却による収入	7,117	11,801
無形固定資産の取得による支出	△12,135	△19,940
資産除去債務の履行による支出	△10,361	△6,400
投資有価証券の取得による支出	△10,079	△81
のれんの取得による支出	—	△41,000
貸付けによる支出	△63,884	△27,870
貸付金の回収による収入	20,450	33,231
保険積立金の積立による支出	△3,544	△3,462
敷金及び保証金の差入による支出	△45,854	△27,152
敷金及び保証金の回収による収入	18,541	26,647
預り保証金の返還による支出	△11,562	△2,221
預り保証金の受入による収入	240	8,610
投資活動によるキャッシュ・フロー	△446,512	△440,597
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	3,150,000
長期借入金の返済による支出	△254,676	△282,158
長期借入れによる収入	400,000	600,000
配当金の支払額	△54,686	△73,989
割賦債務の返済による支出	△1,079	—
リース債務の返済による支出	△2,196	△1,621
財務活動によるキャッシュ・フロー	87,360	3,392,230
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△76,733	2,356,496
現金及び現金同等物の期首残高	1,654,085	1,575,830
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,577,352	3,932,327

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(会計上の見積り)

当社グループは、新型コロナウイルス感染症に関する緊急事態宣言を受け、感染症拡大並びにお客様、従業員の安全確保のため、2020年4月8日から2020年5月6日まで一部店舗を除き臨時休業し、その後も入客数が減少するなど当社の事業活動にも大きな影響を及ぼしております。

これにより、今後も当社の業績に影響が及ぶことが想定されますが、新型コロナウイルス感染症の広がりや収束時期の見通しは不透明な状況にあります。

当社グループでは、2021年春頃に収束に向かうと仮定して、固定資産の減損、繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っております。

なお、現在入手可能な情報に基づいて会計上の見積り・判断を行っておりますが、新型コロナウイルス感染症拡大の状況や影響については不確定要素が多いため、その状況によっては今後の当社グループの財政状態、経営成績に影響を及ぼす可能性があります。